東京都立大江戸高等学校　平成２８年度　数学科　年間授業計画

１．科目名　　数学Ⅰ　　２．講座名（単位数）　数学Ⅰ（２単位）

３．教科担当者

４．使用教科書・教材　　『新編数学Ⅰ』（東京書籍）『アシストセレクト新編数学Ⅰ』（東京書籍）

５．授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4 5 6 7	１章　数と式 【１節　式の計算】 ○（整式）（整式の加法・減法・乗法） ○（因数分解） 【２節　実数】 ○（実数）（根号を含む式の計算） ◎ 夏期講習 「２次関数」「集合と論証」 「データの分析」	○分配法則を用いて、単項式と多項式の掛け算、および多項式どうしの掛け算を計算できる。 ○公式を用いて因数分解ができる。 ○平方根の計算に習熟する。 ○分母の有理化ができる。	○式の展開を公式にあてはめることができる。 ○どの公式を用いて因数分解すればよいかがわかる。	4 8 8 6
2学期	9 10 11 12	【３節　１次不等式】 ○（不等式の性質）（１次不等式） （１次不等式の応用） ３章　２次関数 【２節 ２次方程式と２次不等式】 ○（２次方程式） ４章　図形と計量 【１節　鋭角の三角比】 ○（直角三角形と三角比） （直角三角形の辺と角） （三角比の相互関係）	○不等式の性質を用いて、１次不等式や連立不等式を解くことができる。 ○因数分解や解の公式により２次方程式を解くことができる。 ○三角比を用いて、直角三角形の辺の長さを求めることができる。	○１次不等式を解く方法や手順が理解できる。 ○２次方程式を解く方法や手順が理解できる。 ○三角比の値が求められる。	8 6 8 6
3学期	1 2 3	【２節　三角比の拡張】 ○（三角比と座標）（三角比の性質） 【３節　三角形への応用】 ○（正弦定理）（余弦定理） （三角形の面積） （空間図形の計量） ２章　集合と論証 【１節　集合】 ○（集合） 【２節　命題と論証】 （命題と条件） （論証）	○２辺とその間の角を用いて、三角形や多角形の面積を求めることができる。 ○正弦定理や余弦定理を用いて、辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ○ベン図を用いて、様々な集合を求めることができる。 ○必要条件や十分条件の判断をすることができる。	○三角形の面積の公式を、sin を用いて表すことができる。 ○正弦定理や余弦定理を正しく用いることができる。 ○集合をベン図で表すことができる。 ○必要条件や十分条件を適切に使うことができる。	6 6 4
				予定時数計	70